

# 柏崎刈羽原子力発電所6号機の 点検状況について

2008年8月6日



東京電力

---

# 設備点検状況

- 原子炉格納容器及びバウンダリに属する配管・弁等の漏えい確認（基本点検）として、原子炉格納容器漏えい率試験を実施し、異常の無いことを確認した。
- 原子炉圧力容器(RPV)及びバウンダリに属する配管・弁・インターナルポンプ（RIP）等について、現状実施可能な通常運転圧力の0.5倍程度の圧力※にて漏えい確認を実施し、異常の無いことを確認した。なお、通常運転圧力による漏えい確認（基本点検）は別途実施予定。

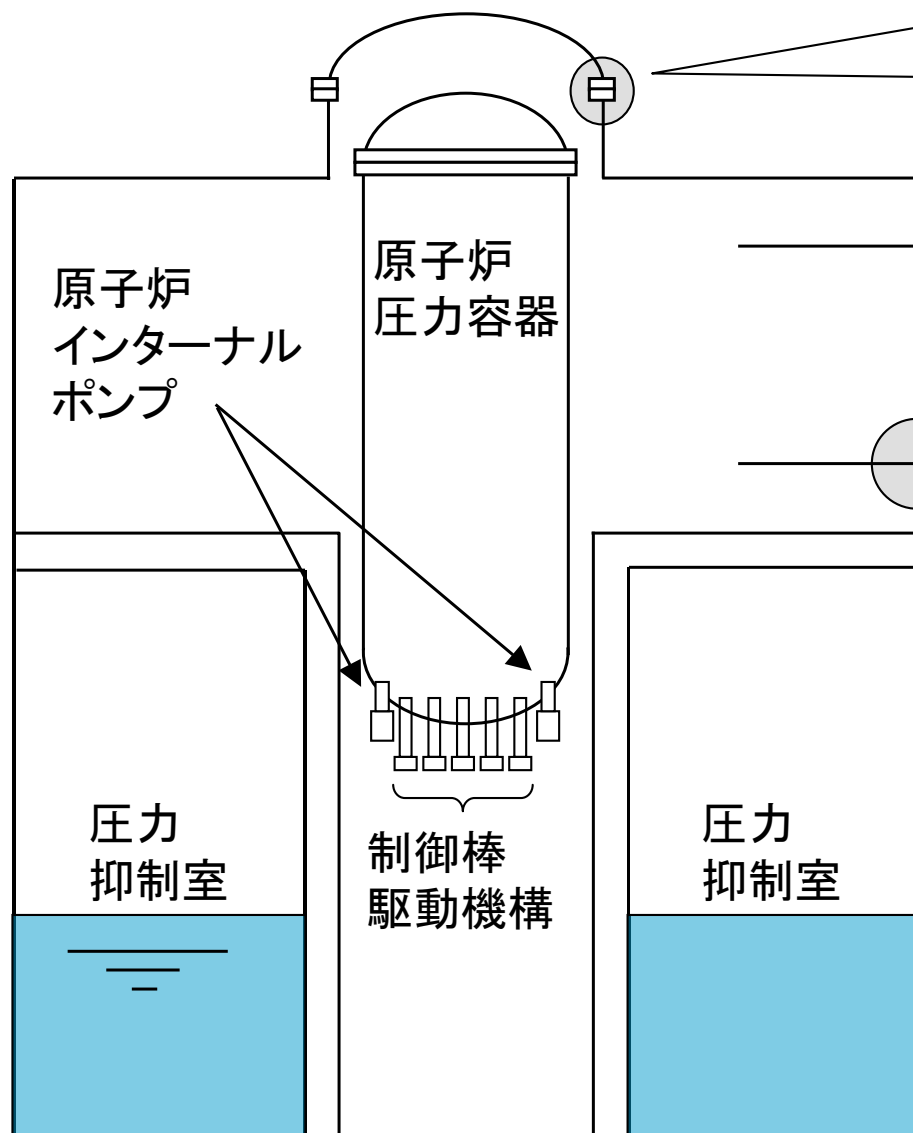
※通常運転圧力では、RPV内の炉水温度の均一化を目的としたRIP運転が必要であるが、現状は燃料未装荷であり、RIP運転により炉内計装管を損傷させる可能性があるため、RIP運転を必要としない圧力・温度で健全性を確認。

# 原子炉格納容器漏えい確認要領

- 漏えい確認は、定期事業者検査として実施している「原子炉格納容器漏えい率検査」と同等の条件で実施
- 維持規格V T - 2相当で、著しい漏えいが無いことも合わせて実施
- 試験条件
  - ✓ 試験圧力：279 kPa  
(最高使用圧力 (310 kPa) の0.9倍)
  - ✓ 試験温度：常温
  - ✓ 使用気体：窒素ガス
  - ✓ 測定時間：6時間
- 判定基準
  - ✓ 最大漏えい率：0.36%/d

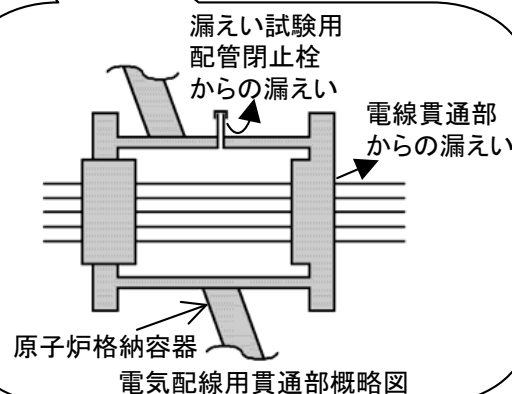
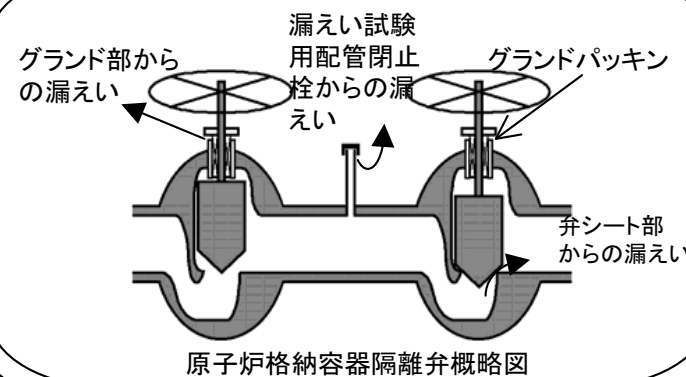
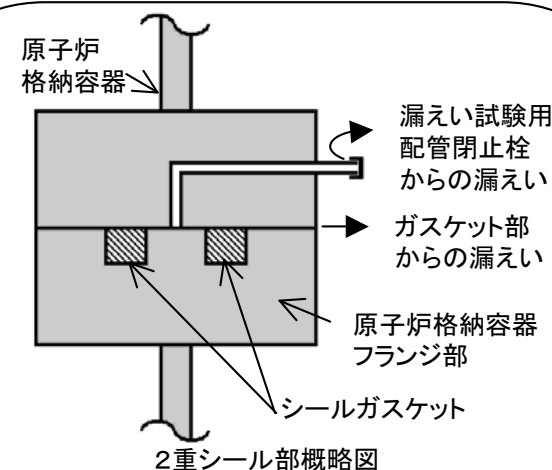
# 原子炉格納容器 概略漏えい想定箇所

■ 原子炉格納容器における概略漏えい想定箇所を以下に示す。



鉄筋コンクリート製原子炉格納容器

## 漏えい箇所例



# 原子炉格納容器漏えい確認結果

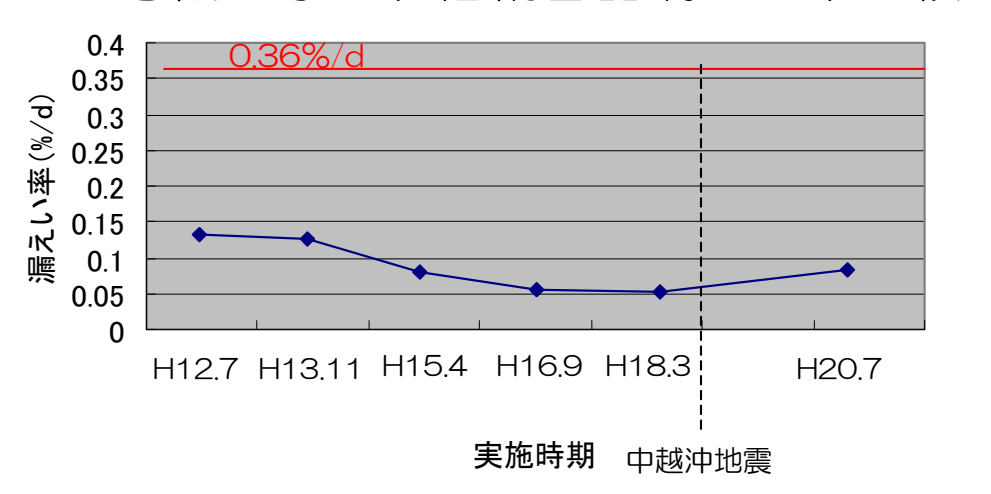
## ■漏えい率判定結果

最大漏えい率  $0.084\%/d$

(判定基準： $0.36\%/d$ )

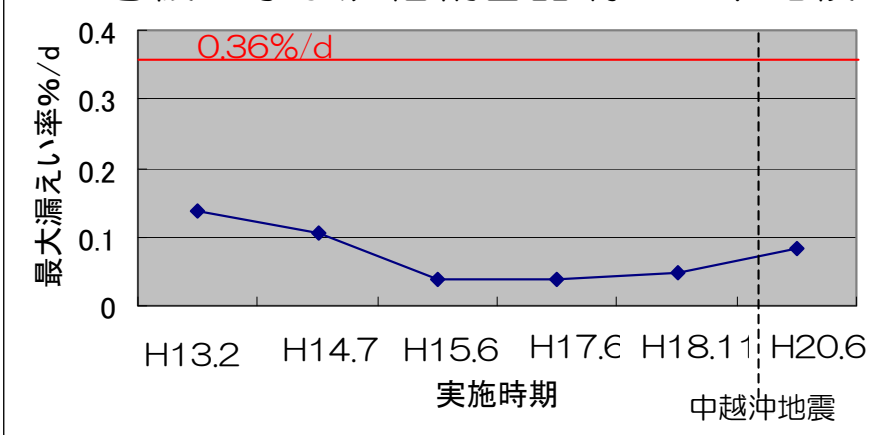
参考として、地震前に実施した「原子炉格納容器漏えい率検査」時の最大漏えい率と比較を右図に示す。

<6号機>原子炉格納容器漏えい率比較



参考として、7号機における「原子炉格納容器漏えい率検査」時の最大漏えい率と比較を右図に示す。

<7号機>原子炉格納容器漏えい率比較



# 原子炉圧力容器漏えい確認要領

■ 漏えい確認は、圧力・温度以外は、定期事業者検査として実施している「クラス1 機器供用期間中検査」の漏えい検査に準じて実施し、維持規格V T-2相当で漏えいを確認

## ■ 試験条件

- ✓ 試験圧力：3.60MPa（通常運転圧力7.07MPa）
- ✓ 試験温度：常温（原子炉冷却材温度21.7℃※以上）
- ✓ 保持時間：4時間

※「設計・建設規格に定められる破壊脆性の要求」による制限温度

## ■ 判定基準

- ✓ 各部から漏えいが無いことを確認する。

## ■ 漏えい試験結果

原子炉圧力容器及びバウンダリに属する配管・弁等について、漏えいの無いことを確認した。